

## 体育大会の練習が始まる

体育大会の練習が本格的にスタートしました。授業の合間の体育大会の練習はとてもキツク感じるかもしれません。しかし体育大会はもう間近に迫っていますし、練習時間も限られた枠の中でしかとすることができません。行進やラジオ体操の練習からのスタートでしたが、みんなのような気持ちで取り組んだでしょうか。

3年生や2年生の練習の時の大きなかけ声が、授業中の校舎に響き渡ることがあります。キミタチの耳にも自然と入ってくるでしょう。3年生にとっては最後の体育大会。2年生にとっては昨年度の経験を生かす体育大会。どの学年も聞こえてくる声から、その気持ちの強さを感じ取ることができます。

さて、1年生の練習ですが…。一生懸命にやっている場面も数多く見ることはできるのですが、全体としては少し元気がありません。「自分が集団を支えているんだ！」という意識が低いんでしょうか。なかなか集中力が続きません。「気をつけ」をしていても号令が出て数秒経ったらキョロキョロしたり、髪を触ったり、下を向いたり、指遊びをしたり…。これは授業中にもいえることですが、「全体への指示」を「自分への指示」として聞くことができない人が多くいるように感じます。これからの課題ですね。

背渡りリレー（学年競技）の練習や綱引き予選（本日3校時には結果が出ている！）も行われます。みんなと相談しあって協力しあって、「自分がクラスを支えているんだ」ということを感じ取ってください。勝ち負けも大事なことです。みんなで力を合わせて「いいもの」を作り上げる喜びを学んで欲しいと思います。



## 6月の予定

- 6月3日（金） 専門委員会
- 6月8日（水） 体育大会予行
- 6月11日（土） 体育大会
- 6月22日（水） 期末テスト ①国②英③技家
- 6月23日（木） 期末テスト ①社②体
- 6月24日（金） 期末テスト ①数②理



## 中間テストの結果を返却！

27日（金）の学活で中間テストの結果（個人票）を返却しました。個人票からは各教科の得点や平均点、順位や得点分布がわかります。点数が良かった悪かったで一喜一憂（いっきちゆう）するばかりでなく、自分の学力と学習の仕方を客観的に振り返らなければなりません。それができなければ、いつまでたっても現状は変わりません。



教科の授業担としてとても気になることがあります。たとえば国語。中間テストでは漢字問題を40点分出しました。この40点分の漢字は、全てゴールデンウィークの宿題から出しています。キミタチのゴールデンウィークの宿題はほぼ全員が提出することができました。国語の課題は一生懸命に取り組んだら1～2時間でやり終えることができる量です。そんなに多くはありません。そして多くの人が、ほぼ間違い直しのない「ほとんど〇（正解）」という状態で提出しました。そして迎えた中間テスト。40点分はゴールデンウィークの宿題そのままの漢字。キミタチがとった平均点数は、な、なんと15点！これはいったい…。

せっかく提出した宿題。1時間かけて書いた漢字。しかし実態は、1時間かけて何も考えずに答えを写しただけで、全く力がついていない…。1時間かけてやり遂げたという事実が、学力に全く結びついていないのです。何とも悲しい結果です…。

キミタチはまず、勉強するということについての考え方を変えていく必要があります。宿題をやるのはシンドイことだと思います。そこから逃げて「提出しない」というのはとんでもないことですが、せっかく提出するなら「1時間分」は実力として身につけなきゃ。「出せばOK」と思う心が大きければ大きいほど、「ただやらされているだけ」となってしまいます。どうせやるなら、力をつけるようにやろう。これは宿題だけではなく、授業でも同じことです。

期末テストは3週間後です。同じ間違いを繰り返しませんように。

### 【国語】

- GWの宿題提出率……………ほぼ100%
- ほとんど×がついていない宿題を提出した人……………たくさん  
（自己採点でほぼ間違えがなかった人）
- 中間テストで実際にキミタチがとった平均点……………15点/40点

## 授業も宿題も体育大会の練習も

ただやらされているだけじゃダメだ

自分から何かを得ようと努力しないと

ただシンドイだけの時間になってしまう！

